

令和3年度 大阪府立生野支援学校 第3回学校運営協議会 議事録

日時	令和4年2月22日(火) 10:00~11:00	
場所	大阪府立生野支援学校 図書館	
出席者	委員	多田 龍弘、種永 法子、(リモート出席) 閑喜 美史、林田 早苗
	学校	国津 賢三(校長)、荒木 千年(教頭)、中村 岳人(教頭)、豊島 秀多(首席)、古本 景将(首席)、奥谷美帆(高等部主事)
	傍聴人	田中 美加、乙須 起代美
議題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学校長あいさつ</li> <li>2. 令和3年度 学校経営計画及び学校評価</li> <li>3. 令和4年度 学校経営計画及び学校評価</li> <li>4. 報告事項</li> </ol>	
協議内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学校長あいさつ                      新型コロナウイルスの感染防止が学校運営の最優先となる1年だった。本校では新型コロナウイルスによる臨時休業が数回あった。2月に入って疫学調査や学校休業の取り扱いが変わり、学校全体を一斉に閉じるのではなく、学年または学級単位で休業をすることになった。教員も家庭の状況により出勤ができないといったことも生じている。そんな中ではあるが、児童生徒と教職員が協力して「密接」にならないよう工夫して進めてきた。</li> <li>2. 令和3年度 学校経営計画及び学校評価                      新型コロナウイルスの影響を受けて実施できなかった項目は△ではなく「-」を付けることになった。今年度は◎が11、○が21、△が13、-が6という結果だった。委員からは「今年もコロナ対策が大きなウェイトを占めている中ではあるが、運動会や文化祭など大きな行事について、内容や形式を見直して安全に実施してこられたことは良かった。」「交流および共同学習では、畑を通じた高校生との交流、その中に保育所の子どもを交えての異年齢集団での交流学习に取り組まれたことは大きな成果であった。」といった評価をいただいた。課題としては学校の施設設備の老朽化、児童生徒数の増加による子どもたちの障がいの状況や課題が多様化していること、教員経験の少ない教員がたくさんいることが挙げられた。また、PTAと相談して新しい連絡用アプリを用いて、よりよい連絡方法を検討することを確認した。</li> <li>3. 令和4年度 学校経営計画及び学校評価                      「めざす学校像」は今年度とほぼ同じ内容で継続する。「中期目標」は修正し、「地域・保護者に関する内容」「児童生徒の支援に関する内容」「教職員に関する内容」の3項目に整理した。</li> <li>4. その他                      交流学习など今年度取り組んだ経験を生かして来年度も「地域との連携」を継続し、更なる検討を進めていくことを確認した。最後に委員の皆様今年度の参加のお礼と来年度の協力をお願いして今回の協議会は終了した。</li> </ol>	
協議資料	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 令和3年度 学校経営計画及び学校評価</li> <li>2. 令和4年度 学校経営計画及び学校評価</li> <li>3. 令和3年度 学校教育自己診断についての結果考察</li> </ol>	
備考	新型コロナウイルス感染症感染防止の対策により、校内見学は中止	